

「アクション油ヶ淵 2018」の開催報告

日 時 平成30年9月1日（土） 午前9時30分～午後2時30分
場 所 油ヶ淵水辺公園 自然ふれあい生態園
協力団体 油ヶ淵漁業協同組合、碧南海浜水族館、西三河野鳥の会
碧南工業高等学校環境工学科
参 加 者 油ヶ淵流域の住民を中心とした一般県民 約240名

○ 開会式

開会にあたり、主催者である油ヶ淵水質浄化促進協議会を代表して愛知県環境部水大気環境課長から挨拶させていただき、また、ご来賓の大西衆議院議員、杉浦愛知県議会議員よりご祝辞をいただきました。

[ご出席いただいた来賓の皆様]

衆議院議員 大西 健介 様（愛知県第13区選出）

愛知県議会議員 杉浦 孝成 様（高浜市選出）

愛知県議会議員 石井 拓 様（碧南市選出）

愛知県議会議員 嶋口 忠弘 様（安城市選出）

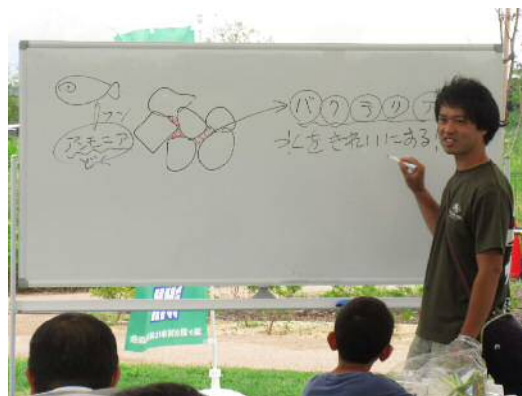


大西衆議院議員 杉浦県議会議員

○ 油ヶ淵のいきものでミニビオトープを作ろう！

（講師：Bio Garden With 宮田 賢輔 氏）

環境カウンセラーの宮田賢輔さんと油ヶ淵流域に生息するいきものでミニビオトープを作りました。ケースの中に、砂や水草、シジミ、エビ、メダカなどを順番に入れながら、それぞれの役割や、いきもの同士が関わり合って水をきれいにしていることなどを学びました。



○ 油ヶ淵にすんでいる外来生物どんなのいるの？（講師：碧南海浜水族館）

碧南海浜水族館の職員さんと一緒に、外来生物のどんなことが問題なのか、在来生物を守るにはどうしたらいいのかを考えました。また、外来生物をモチーフにした工作教室も行い、楽しみながら外来生物について学びました。



○ 油ヶ淵に飛んでくる野鳥を観察しよう！（講師：西三河野鳥の会）

西三河野鳥の会の会員さんの指導のもと、しおりに種類をチェックしながら油ヶ淵の野鳥を観察しました。ミサゴやセグロセキレイなど23種類の野鳥が確認でき、その声に耳を澄ました。

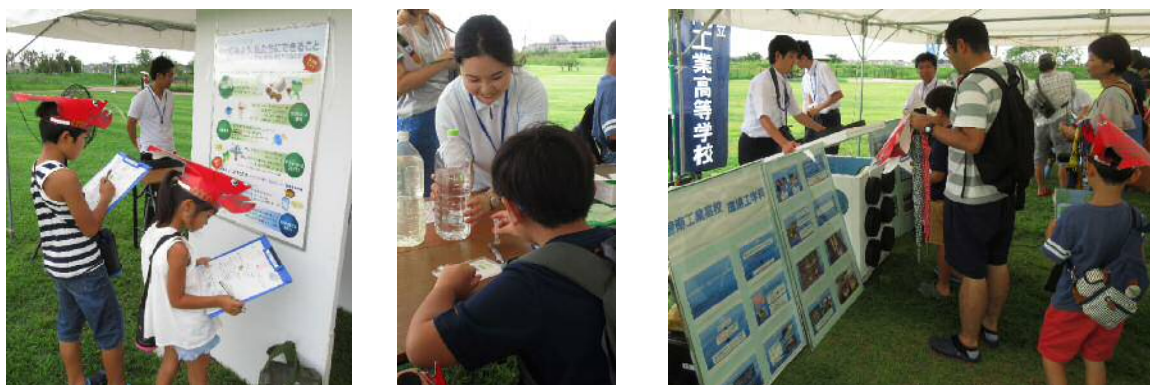


○ いきものタッチプール ※協力：油ヶ淵漁業協同組合

コイやナマズ、ウナギ、テナガエビなどの油ヶ淵に生息しているいきものとふれ合いました。



- 油ヶ淵スタンプラリー ※協力：碧南工業高等学校環境工学科
「油ヶ淵クイズ」「水質調査体験」「水質浄化ロボット」の3つのブースを巡り、油ヶ淵の環境や水質などについて理解を深めました。



○ 参加者の声

- ・ 実際にミニビオトープを1つ1つ作りながら説明を受けたので、わかりやすかった。
- ・ 生き物同士が関わり合って水をきれいにする様子がわかりやすくすごいいと思った。
- ・ シジミが水を透明にする実験がびっくりした。
- ・ 作ったビオトープを持ち帰って学習ができるのでうれしい。大切に育てたい。
- ・ スライドや実物を見ながら、いろいろな外来生物のことが勉強できた。
- ・ 外来生物とは聞いたことがあっても見分けの仕方、もし捕まえてしまった時のことなどわかりやすく、関心が持てるようになった。
- ・ 外来生物をモチーフにした工作が面白かった。
- ・ 自然に親しめ、とても楽しく野鳥の観察ができた。
- ・ オオタカなど珍しい鳥がたくさん見られた。
- ・ 解説が詳しく、鳥の種類などがよくわかった。
- ・ 水質調査の実験が楽しかった。
- ・ 油ヶ淵の水がきれいになってきたことや、ちょっとしたジュースでも水が汚れて魚がすみにくくなってしまふことがわかった。
- ・ 見て、さわって、子どもが楽しく参加できた。
- ・ 油ヶ淵のことがよくわかった。

など